ファミリーサポート・ぐりとぐら　の　あゆみ

平成10年度（1998）

〇上伊那初の「保育サービス講習会」（駒ケ根市　女性ふれあい館主催）に参加。

　保育サポーター17名誕生

平成11年度（1999）

会員数　17名	お預かり(5～12月）のべ140人

〇「ファミリーサポート・ぐりとぐら」と命名

☆講演会「こどもの心をよんでいますか？　県看護大　石川利江」開催

☆看護大学「子どもの虐待防止研究会」「たんぽぽの会（アトピーをもつ子どもと親の会）への

　参加（～現在まで）

☆「子育て関連サークル連絡会」発足の呼びかけと、とりまとめ（～現在まで継続参加）

☆ふれあい広場参加（～現在まで）

☆ホーム祭参加（～2022年度より赤穂公民館合同「すずらん文化祭」となり現在まで参加）

〇女性団体連絡会登録活動（～2009年まで）

〇ボランティア連絡協議会登録活動（～現在まで継続活動）

〇市民ネットアルプス登録活動（～2000年まで）

【　市　飯坂保育園内子育て支援室　開室　】

平成12年度（2000）

会員数　23名	お預かり（1～12月）のべ295件　のべ729人

〇託児問い合わせ専用の携帯電話を設置　090-3221-4666

〇障がい児の託児をはじめる（タイムケア事業の引き受け団体となる）

☆「子育て交流会」2回開催

☆公開講座「こどものからだの発達と病気　昭和伊南総合病院　滝芳樹」開催

☆第1回「こどもとおかあさんのための音楽会バイオリン・ピアノ・オーボエ」開催

☆「子育て中のお母さんのための市町村合併についての説明会」開催

〇市内「子連れで利用できる施設一覧」作成（子育て関連サークル連絡会）

〇男女共同参画研究集会で子育ての分科会を担当

平成13年度（2001）

会員数　34名	お預かり(1～12月)　のべ696件　のべ1278人

○託児おもちゃ、活動用エプロンの購入

○市のホリデーサポート事業(休日のお預かり)の引き受け団体として登録

☆「子育て交流会」2回開催

☆講演会「こどもの虐待ってどんなこと？」 県看護大　北山秋雄」開催

☆第2回「こどもとおかあさんと森の音楽会　フルート・オーボエ・ピアノ」開催

平成14年度（2002）

会員数　37名	お預かり(1～12月)　のべ655件　のべ1261人

○土曜保育を市に要請

☆「子育て交流会」2回開催

☆公開勉強会「こどもの育て方それぞれ～預けますか？預けませんか？～ 県看護大　吉沢豊子」

☆第3回「こどもといっしょに森の音楽会　木管五重奏」開催

○子育て支援冊子初版「親子でおでかけマップ」発行　（子育て支援室）

○「駒ケ根市に幼い子どもと、子どもを育てる人たちが集える場所についてのお願い」の署名活動開始

（子育て関連サークル連絡会）

平成15年度（2003）

会員数　33名	お預かり(1～12月）のべ641件　のべ1258人

〇ぐりとぐらの名前使用について、福音館書店を通じて作者に許可をいただく。

☆第4回「こどもといっしょに森の音楽会　2台のピアノ・オカリナ」開催

〇平成14年度に引き続き「駒ケ根市に幼い子どもと、子どもを育てる人たちが集える場所についてのお願い」の署名活動と市への陳情

→　駅前アルパ3階に「きっずらんど」オープン(10月)

〇子育て関連サークル連絡会から、新サークル「おでかけマママップ」 が独立し活動開始

【　市　土曜拠点保育開始　】

〇図書館協議会参加（～現在まで継続参加）

平成16年度（2004）

会員数　32名	お預かり(1～12月）のべ406件　のべ1368人

☆「子育て交流会」開催

☆第5回「こどもといっしょに森の音楽会　ソプラノトリオとピアノで森の秋」開催

☆公開講座「子育て中のお母さんのための市町村合併説明会」開催　（企画財政課　講師）

〇子育て支援冊子第2版「おでかけマママップ」発行

○食育懇話会参加（～2004年まで）

【　市　5歳児検診を始める　】

平成17年度（2005）

会員数　40名	お預かり(1～12月)　のべ524件　のべ1358人

☆第6回「こどもといっしょに森の音楽会　アンサンブルファンファールのクリスマス（金管5重奏）」開催

☆ふれあい広場　当年より「ふれあい魚つり」で参加

【　あけぼの園　「つくし園」として市に移行　】

平成18年度（2006）

会員数　35名	お預かり(1～12月)　のべ510件　のべ1375人

○女性ふれあい館託児室の避難マニュアルを作成・掲示

○非常持ち出し袋・防災頭巾を設置

☆第7回「こどもといっしょに森の音楽会　アルパとピアノのフルートと」開催

○子ども用品フリーマーケット開始　年2回　（子育て関連サークル連絡会）

○男女共同参画研究集会で子育ての分科会を担当

○次世代育成懇話会（子育て10箇条策定）参加（～2007年まで）

平成19年度（2007）

会員数　30名	お預かり(1～12月)　のべ456件　のべ1250人

☆第8回「こどもといっしょに森の音楽会　バイオリンとチェロの調べ風に乗って」開催

○市ファミリーサポートセンターの設立の可否等を行政とともに検討をはじめる

○昭和伊南総合病院から産科がなくなる問題についての勉強会「昭和伊南総合病院から産科がなくなるって本当ですか？」の開催を中心となって進める

→「安心して安全な出産ができる環境を考える会(in 伊南)」へ

○子育て支援冊子第3版「おでかけマママップ」発行

平成20年度（2008）

会員数　31名	お預かり(1～12月)　のべ238件　のべ　688人

○おもちゃの家より玩具を譲り受ける

☆第9回「こどもといっしょに森の音楽会　高原の秋はずむマリンバ」開催

○駒ヶ根市社会福祉協議会より活動表彰を受ける

○市(社協)のファミリーサポートセンター立ち上げのための話し合いと準備を進める

【　つくし園　きらら(元観成園)に移転　】

【　伊那養護学校「小学部はなももの里」分教室開室（中沢小学校内）　】

平成21年度（2009）

会員数　30名	お預かり(1～12月）のべ146件　のべ　409人

☆公開講習会「緊急サポート講習会」開催

☆第10回「こどもといっしょに森の音楽会　日本の音と秋の風（和楽器ユニット）」開催

○市(社協)のファミリーサポートセンタースタート(4月）　当会会員も協力会員として登録

○市民活動センター「ぱとな」登録　（10月オープン）

平成22年度（2010）

会員数　26名	お預かり(1～12月）のべ105件　のべ　302人

☆第11回「こどもといっしょに森の音楽会　新米パパが歌う子どもに聴かせたいうた（テノール）」開催

☆公開勉強会「子どもの権利条約について教えてください　元人権擁護委員・中村榮三」開催

○子育て支援冊子第4版「おでかけマママップ」発行

【　伊那養護学校「中学部はなももの里」分教室開室（東中学校内）　】

平成23年度（2011）

会員数　17名	お預かり(1～12月)　のべ119件　のべ　237人

〇ふれあい広場　当年より昼食部協力参加

☆「子どもによる子どものための子どもの権利条約」を赤穂中に掲示

平成24年度（2012）

会員数　17名	お預かり(1～12月)　のべ72件　のべ　210人

〇ぐりとぐらの大同窓会を開催

〇「たかずやの里」建て替えのための寄付を行う

〇子育て事業リーダー養成講座(市こども課)に参加

【　社協にボランティアセンター設置　（ボランティア連絡協議会）　】

平成25年度（2013）

会員数　18名	お預かり(1～12月)　のべ107件　のべ　295人

〇「子育てひろば　ひらけごま」が会員として参加。協力活動を始める

〇文化センター託児室の避難マニュアルのまとめ直しと再掲示を行う

〇送迎託児料金の見直しを行う

〇長野県社会福祉協議会より活動表彰を受ける

☆「訪問型子育て支援　ホームスタート」についての学習（清瀬市ピッコロ　小俣みどり代表）

☆ホーム祭にて「伊那谷（辰野～飯田）市町村別お子さんのお預かり事業状況調査」のまとめを展示

〇経塚保育園建て替えについて市子ども課担当者と懇談

〇駒ケ根市「子ども子育て会議」への参加（～平成30年度まで継続参加）

〇東京都中野区「ココラク」との交流会（駒ケ根市観光協会主催）

平成26年度（2014）

会員数　16名	お預かり（1～12月）のべ187件　のべ325人

〇会の対外関係を整理し、関係図を作成

☆「伊那市児童養護施設　たかずやの里」「宮田村子育て総合施設うめっこらんど」見学

☆ホーム祭にて「たかずやの里」「うめっこらんど」のまとめと「ひらけごま」の活動展示

〇経塚保育園建て替えに伴い、子育て支援施設について市子ども課担当者と懇談

平成27年度（2015）

会員数　14名	お預かり（1～12月）のべ134件　のべ364人

〇「子育てひろば　ひらけごま」が「地域での子どもの居場所づくり事業」として活動

☆「切れ目のないケアについて」（おひさま助産院助産師　小林　まゆみ）

☆「放課後デイサービスについて」(障害児相談支援事業所しろくまジャンプ　武井弘江)

☆十二天の森(駒ケ根市きっずあそびパーク)見学と散策

☆安曇野市子育てひろば「ぱおぱお」　飯田市子育てサロン「おしゃべりサラダ」見学

☆ホーム祭にて「ぱおぱお」のまとめを展示

○少子化対策会議、地方創生会議への参加　*(2018年度まで)*

○経塚保育園建て替えに伴い、市子ども課担当者と懇談

○子育て支援士2種　受講

平成28年度（2016）

会員数　18名	お預かり(1～12月)　のべ101件　のべ340人

○これまでに作成した託児関連資料、マニュアル全ての見直しと整理を行う

○会の法人化への研究(子ども課とともに県のセミナーへの参加、個別調査等)を行う

○総会にて法人化を決定

○経塚保育園内新設予定の「子育てひろば」について共に準備をすすめる

　(新しい経塚保育園見学、子育て支援室との懇談、担当者による準備)

☆飯田市「おしゃべりサラダ」「長野こどもの城」見学と懇談

☆ホーム祭にて「駒ケ根市における託児の経過と現在の状況」「ひらけごま」の活動を展示

〇当会託児管理担当が市のファミリーサポートセンターのコーディネーターを兼務

〇当会会員2名が子育てひろば「まぁるくなあれ♪」職員となる

〇子育て支援士2種、ひろば全協全国交流会、女性労働協会事故防止セミナー、

　ひろば全協リーダーシップ研修　受講

【　市　経塚保育園建て替え完成　】

【　市　子育て支援センター・一時預かり室が飯坂から経塚へ移転　】

【　市　子育てひろば　「まぁるくなあれ♪」　オープン　】

【　市　 8カ月未満の子どもの一時預かり保育事業開始　　】

【　市　病児保育（まえやま内科胃腸科クリニック内 病児保育室へ委託）　開始　】

【　ファミリーサポートセンター　社協委託から市の直営へ　】

平成29年度（2017）

会員数　19名	お預かり（1～12月）のべ225件　のべ743人

　他、保育協力会員登録22名

〇市のファミリーサポートセンターに代わり、団体託児を当会にて受け入れる

〇会の法人化見送り決定（市の事業委託見送りにより）

〇保育協力会員を会員登録する

〇高砂園へ活動拠点を設置し、休日、早朝、夜間のお預かりが無理なく受けられるようになる

〇特別会員として5名の専門職が入会する

〇ふれあい広場へ介護友達ボランティア部（休憩テント、付き添い）で参加

☆公開学習会「お母さんがいきいき子育てするために（長野県看護大学　清水嘉子学長）」開催

☆飯田市子育てサロン「おしゃべりサラダ」視察と懇談

〇子育てひろば「まぁるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターの協力を行う

〇子育て支援施設等の委託について教育長他（次長・課長・係長）との懇談を行う

〇議会にて子育て支援施設等の委託についての市の考え方を質問

【　団体託児　市のファミリーサポートセンター事業の対象外となる　】

【　市子ども課　経塚保育園内子育て支援施設（ひろば等）を平成33年度～委託に出す為の計画と予算を3か年計画に盛る】

平成30年度（2018）

会員数　18名	お預かり（1～12月）のべ310件　のべ986人

他、保育協力会員18名、特別会員5名

○駒ケ根市文化財団奨励賞を受賞する

○赤い羽根共同募金を受け、ホームページ作成、高砂園託児室整備をする

○新年度からの託児料金、会員、会費見直し(団体会員新設)の検討と依頼をする

○保育協力会員の交流会を行う

○教育委員会次長、子ども課課長、係長との懇談を行う

○全国保育グループ連絡会に参加する

☆公開学習会「子どもの心と気持ち、育てる人の心と気持ち」(長野県看護大学学長北山秋雄)開催

☆第12回「子どもといっしょに街の音楽会(バイオリンとピアノを楽しみましょう♪)」開催

(Vi 原ゆかり、Pf 川上陽子)

○病院運営審議会、ありかた検討委員会への参加(お産の会に引き続き2010年より現在まで)

○子育てひろば「まぁるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターの協力を行う

平成31年度(令和元年度)(2019)

会員数　18名	お預かり(1～12月)　のべ279件　のべ868人

他、保育協力会員18名、特別会員5名

〇駒ケ根市市政65周年市政功労賞を受賞する

〇会発足20周年の同窓会を行う（高砂園にて）

〇規約改訂により、団体託児の依頼団体及び協力会員について年会費をいただく

〇活動用エプロンを新調（イラストさとはつみ、プリント駒ケ根工業高校の協力による）

〇保育協力会員の交流会を行う

〇子ども課課長、係長との懇談を行う

〇駒ケ根市保健師との懇談を行う

〇時期市長選候補者2名との懇談をそれぞれ行う（伊藤ゆうぞう氏、小松原繁樹氏）

〇ふれあい広場、高砂園ふれあいの集い、ホーム祭への参加

☆第13回「子どもといっしょに街の音楽会（シンガーソングライター湯澤かよこ）」開催

〇子育てひろば「まぁるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターの協力を行う

【市子ども課　3か年計画から、経塚保育園内子育て支援施設（ひろば等）の委託予算を外す】

令和2年度（2020）

会員数　18名	お預かり（1～12月）のべ151件　のべ323人

他、保育協力会員11名、特別会員5名

★新型コロナウイルスの感染拡大により、活動が大きく制限される。

〇保育協力会員の交流会を行う

〇子ども課課長、係長との懇談を行う

〇託児料金（預かる側）の改訂を検討する（令和3年度より新料金スタート）

☆子育てひろば学習会を行う　参加：他市町村も含めた関係者40名

「もっと活かせるかもしれない！子育てひろばの繋がりを考える」

～地域子育て支援拠点事業に期待される役割～（NPO 法人マミーズネット代表　中條美奈子さん）リモート

☆災害ボランティア立ち上げ訓練に参加する（ボランティア連絡協議会、社協）

☆コロナ感染拡大により、ふれあい広場、高砂園祭中止となる。

☆ホーム祭にて活動展示を行う（ホーム祭としては最後）

〇子育てひろば「まぁるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターへの協力を行う

令和3年度（2021）

会員数　14名	お預かり（1～12月）のべ243件　のべ384人

他、保育協力会員13名、特別会員5名

★前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大により活動が大きく制限される。

託児数はやや戻る。

〇保育協力会員との交流会を行う

〇子ども課赤羽課長、山田係長との懇談を行う

〇アウトリーチに向けての学習会を 3 回行う

「駒ケ根市の子育て支援内容の確認と守秘義務について」ぐりとぐら託児コーディネーター　小倉絵里香

「耳を澄ませて心を結ぶ～あなたの思いを上手に伝えるアプローチを目指して～」社会福祉士　弓田香織

「あなたの力を貸してください～産後間もないママと赤ちゃんにできること～」助産師　小林まゆみ(リモート)

〇図書館購入の児童書 6 冊のスポンサーとなる(こどものとも(012・年少版・年中版)、こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも)

〇託児料金(預かる側)の改定

平日 1 時間あたり 600 円→850 円　土日祝日 1 時間あたり 700 円→950 円

預ける方の料金を据え置くため、差額分を企業、個人からの寄付金で補填する

☆コロナ感染拡大により、ふれあい広場、高砂園祭中止となる

☆第1回すずらん文化祭(公民館と旧女性ふれあい館合同)にて活動展示を行う

〇子育てひろば「まぁるくなあれ♪」ファミリーサポートセンターへの協力を行う

令和4年度（2022）

会員数　14名	お預かり(1～12月）のべ105件　のべ183人

他、保育協力会員12名、特別会員5名

★前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大により活動が制限される。

〇当会扱いのお預り数は、前年度の半数程度となった。これは、令和4年度より駒ケ根市のファミリーサポートセンター事業が保育者の手当を当会と同額に引き上げ、併せて利用者への補助を出す制度改訂を行ったことから、市で扱えるお預かりは市のファミリーサポートセンター利用を進めた結果あり、利用者にとってはプラスとなった。

〇保育協力会員との交流会を行う

〇子ども課赤羽課長、山田係長との懇談を行う

〇アウトリーチに向けての学習会を 3 回行う

「耳を澄ませて心をつなぐ Part2」社会福祉士　弓田香織さん（10 月）

「子どもの虐待をめぐって」長野県看護大学名誉教授　北山秋雄先生（12 月）

「お子さんを預かる私たちが元気でいるには」助産師　小林まゆみさん（2月）

〇図書館購入の児童書 6 冊のスポンサーを継続（こどものとも（012・年少版・年中版）、

こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも）

〇上伊那全市町村の子育て支援について、各市町村の協力を得て約 10 年ぶりに調査。一覧にまとめ、すずらん文化祭で発表し、まとめを各市町村へフィードバックする。

☆コロナ感染拡大により、ふれあい広場、高砂園祭中止となる

☆第2回すずらん文化祭（公民館と旧女性ふれあい館合同）にて上伊那全市町村の子育て支援調査結果を展示する。

☆市民活動支援センターの登録団体となり（再登録）「ぱとな祭」で活動紹介を行う。

〇女性労働協会グループ保険対象見直しに伴い、全会員への「保育サポート講習会」終了確認と、保育士等有資格者の改めての受講などの対応を行う。

〇ファミリーサポートセンターへの協力を行う

〇子ども服フリマの開催協力を行う

〇図書館協議会参加（2003年～）

【駒ケ根市ファミリーサポートセンター　預かり手の時間あたり料金を600円⇒850円に改訂依頼者に1時間あたり250円の補助を新設】

【飯島町おひさま病児保育始まる（のどかクリニック併設）】

令和5年度（2023）

会員数　14名	お預かり(4～3月）のべ105件　のべ183人

他、保育協力会員11名、特別会員5名

★新型コロナウイルスの5類移行により、対面活動が徐々に元に戻る。

〇当会扱いのお預り数は、前年度の半数程度となった。これは、令和4年度より駒ケ根市のファミリーサポートセンター事業が保育者の手当を当会と同額に引き上げ、併せて利用者への補助を出す制度改訂を行ったこと、市担当者の丁寧な対応、当会からも市の制度利用を勧めた結果、市のファミリーサポートセンター利用が増えたことによる。

〇保育協力会員との交流会を行う

〇子ども課赤羽課長、山田係長との懇談を行う

〇子育て支援に繋がる学習会を2回行う

「今どきの赤ちゃんと、赤ちゃんのいる生活」おひさま助産院　小林まゆみさん（6月）

「知っておこう、駒ケ根市の子育て支援制度いろいろ」駒ヶ根市子ども課保健師　木下真唯さん（6月）

「耳を澄ませて心をつなぐ　Part3～みえづらい SOS を支援につなぐために」社会福祉士　弓田香織さん（11 月）

〇図書館購入の児童書 6 冊のスポンサーを継続（こどものとも（012・年少版・年中版）、こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも）

〇中央大学 FLT 天田ゼミ「駒ヶ根市における子育て支援調査」ヒアリング受け入れ（9 月）

☆ふれあい広場（初のふれあいセンター会場）・高砂園ふれあいまつり（9月同日開催）活動展示を行う。

☆第3回すずらん文化祭（駒ケ根文化サークル協会）にて活動展示を行う。

☆「ぱとな祭」で活動展示を行う。

〇市長選候補者との懇談を行う（12月、1月）

〇ファミリーサポートセンターへの協力を行う

〇子ども服フリマの開催協力を行う

〇図書館協議会参加（2003年～）

令和6年度（2024）

会員数　11名	お預かり(4～3月）のべ54件　のべ97人

他、保育協力会員11名、特別会員6名、賛助会員1名

〇当会扱いのお預り数は、前年度の半数程度（2年前の4分の一）となった。令和4年度より駒ケ根市のファミリーサポートセンター事業が保育者の手当を当会と同額に引き上げ、併せて利用者への補助を出す制度改訂を行ったこと、市担当者の丁寧な対応（当会の託児管理担当）、当会からも市の制度利用を勧めた結果、市のファミリーサポートセンター利用が増えたことによる。

〇保育協力会員との交流（意見交換）を行う

〇子ども課、企画課の子育て支援に関わる担当者共に、令和4年の中央大学調査報告「駒ケ根市における子育ての社会化とその課題」をもとに意見交換を行う。

（子ども課水野課長、菅沼係長、企画課久保が課長、吉澤係長、三枝係長、長野県看護大学北山名誉教授、小林助産師）

〇子育て支援に繋がる学習会を2回行う

「耳を澄ませて心をつなぐ　Part4～あなたから繋がる子育て安心社会」社会福祉士　弓田香織さん（9月）

「駒ケ根市の子ども食堂について」肥野みさをさん（1月）

〇図書館購入の児童書6冊のスポンサーを継続（こどものとも（012・年少版・年中版）、こどものとも、かがくのとも、ちいさなかがくのとも）

☆ふれあい広場・高砂園ふれあいの集い（9月）活動展示を行う。

☆第4回すずらん文化祭（駒ケ根文化サークル協会）にて活動展示を行う。

☆「ぱとな祭」で活動展示を行う。

〇ファミリーサポートセンターへの協力を行う

〇子ども服フリマの開催協力を行う

〇図書館協議会参加（2003年～）